



30周年記念誌発刊にあたって

松江市ボランティア連絡協議会

会長 平田 寛容

本協議会は昭和58年に、ボランティア団体の相互交流と地域福祉の発展に寄与する事を目的に「松江市ボランティア協会」として発足しました。当初は全国的にも都市ボランティアの結成も少なく、わずか6団体からのスタートでしたが、全国のモデルとして先駆的活動が続けられ、現在では諸先輩の多大なご尽力により、100団体を超える組織になりました。

設立30周年にあたり、「30周年記念誌」を発刊できます事は誠に喜びにたえません。

松江市、松江市社会福祉協議会ははじめ関係各位のご協力ご支援にあらためて感謝申し上げます。

日本大百科全書によるとボランティアの語源はラテン語で「自由意志」を表すボランタスであり、自発的自主的な奉仕活動をする人々だと記してあります。ボランティア元年の基となった「阪神淡路大震災」が平成7年1月に起き、この時自由意志で自然発生的にボランティアが全国より被災地へ赴き活発な支援活動が行われました。平成23年3月には「東日本大震災」が起き、原子力災害も合わせ、甚大な被害を蒙りました。この際もいち早く全国から被災地支援の為に多くのボランティアが活動に携りました。

この様に時代の変遷と共に、福祉を中心としたボランティア活動から、災害・地域・環境・教育等々ニーズの拡大と共に活動範囲も広がっており期待は益々高まっております。

本協議会も期待に応えるべく、活動の継続と柔軟で多様な対応能力の向上を図り、新しい時代の創造的ボランティアとしての、役割を果たしたいと存じます。

平成24年8月には従来の3専門委員会（企画、広報、組織推進）に加え、新たに「分野別委員会」を設立し、交流会、ワールドカフェと活発な交流を続けており、企画、組織推進各委員会の活動も顕著であり、又広報委員会に於いては機関紙「ボランティアまつえ」を発行し、啓発広報に努めています。

更には発足当初より毎年開催されてきました「松江市ボランティアの集い」も、平成17年から、松江市社会福祉協議会、企業ボランティア松江ネットワーク会議と共催で、「松江市ボランティアフェスティバル」と名称も変え、「広がれボランティアの輪」をメインテーマに盛大に開催しております。このフェスティバルには、多くの高校生に運営スタッフとして又各種イベントのスタッフとしても参加を得て、次の世代への橋渡しを図っております。

平成25年10月には「市民ボランティアまつり」を開催しました。市民の皆様の参加を戴き清掃ウォーキング、活動紹介等、盛大に行いボランティアの輪の広がりを感じました。

30周年を契機としまして、時代の変革に的確に対応できる協議会として、幅広い領域のボランティア活動振興と地域福祉の充実発展の為に邁進したいと存じます。

関係各位の益々のご支援、ご協力をお願い申し上げまして発刊のご挨拶といたします。